

代表質問

11月定例市議会では、六会派の代表が、議案や市政全般についての質問を行いました。会派別にいくつかを取り上げて、要旨を掲載します。

市民ネット

弱者保護の視点で

行財政改革を

問 行財政改革は、業務の民間化等により経費の節減に努める一方で、弱者保護も求められるが、本市の基本的姿勢は。

答 同水準のサービスであれば経費の安い方が良いが、弱者保護の視点は必要だ。生活保護等を含め経済的弱者への施策は公費で行うべきものであり、そのため他分野からの資源配分の強化が必要なことから他部門の合理化はやむを得ないと考える。

産業廃棄物の焼却受け入れ チケット体制の確立を

問 本市ごみ焼却施設で産業廃棄物を受け入れるが、チケットをどのように行うのか。

答 事業者から事前に種類・量・処理方法等につき資料を提出させ、搬入の際は計量時に廃棄物管理票で内容を確認し、専

用の投入口を指定するとともに展開検査を適時行い、安全で安定した施設の運転維持のため受け入れ基準を厳守させる。

全国障害者スポーツ大会

PRの充実に

問 全国障害者スポーツ大会は国体に比べアピール度が薄いが、平成17年開催に向けたPRは。

答 ポスターや広報紙等でのPRや中学校のバスケットボール部と県車椅子バスケットボールチームとの交流会、各種イベントにおける障害者スポーツ体験コーナー設置等の工夫により啓発に努めている。さらに学校観戦など、より多くの市民に会場いただけるよう各種団体や関係機関に働きかけていきたい。

カネボウ跡地整備事業

17年度民間事業者を公募

問 カネボウ跡地の活用方針が示されたが、公共施設に先行して整備する商業的娯楽施設の内容は、事業実施のスケジュールは。

答 提言書にも例示されたスーパースポーツセンター等も含め話題性・集客性が高い魅力的なショッピング等の娯楽性を持つ施設を考えている。総合政策審議会に諮り、議会での議論を経て、平成17年度を目途に民間事業者を公募する事業プロポーザルを実施したい。



活躍する岡山県チーム（埼玉大会）

共産党

戦後六十年に向けた

取り組み

問 平成17年は戦後六十年の

節目だが、市内の戦争・戦災遺跡を調査し保存を、戦没者名簿のデジタルミュージアムでの公開と石山公園への礎の設置を。

答 過去を認識し保存することは必要と考えるが、保存すべき遺跡は、文化的価値や地域の声などを総合的に判断する中で明らかにするものと考えている。名簿の公開は検討中だが、礎の設置は遺族等幅広い市民からの盛り上がりも必要と考える。

苦田ダムからの受水 必要水量に限定を

問 苦田ダムからの受水について、必要な水量だけの受水で済むように広域水道企業団条例の変更を県に求めている。

答 企業団からは規定の整備を進めると聞いている。平成17年度から増量となる受水は、条例で定められた責任水量で、本市浄水場の稼働率が100%を超えている中で、地下水源の温存、小規模水源の代替等から必要な水量と考えており、今後必要な水量のみを受水の予定だ。

同和団体への補助金制度 見直しに向けて

問 分裂状態の部落解放同盟岡山支部（伊澤派）への補助金執行を止め、合わせて制度の見直しを。



戦争・戦災遺跡を後世に
（津島地区に残る地下壕）

親和クラブ

政令市移行問題

答 これまで運動団体に対して団体補助金を交付してきたが、同和問題の解決に向けて一定の成果があったものと認識している。平成17年度以降については、厳正な実績確認や削減に向けた協議を精力的に行う中で、補助金を事業費補助へ切り替えることも念頭に検討したい。

問 本市の政令市移行は困難な状況だが、今後目指すのが国の財政再建計画による政令市への影響は。